小学校　第３学年　道徳科学習指導案　授業者：香美市立舟入小学校　宇賀美保　児童数:２３名　令和２年　１２月１日（火）５校時

【主題名】　正しいと考えたことを実行できるためには 【善悪の判断，自律，自由と責任】中Ａ－（１）	【教材名】 「ダブルブッキング」　（「生きる力３」　日本文教出版

【本時のねらい】正しいと分かっていても行動できなかった主人公の心の葛藤を考える事を通して，人に流されたり自分の心の弱さに負けたりして正しいことができなかった時には後ろめたさが残り，弱い心に負けず，正しいと思った心を大切にして，正しいことを行えた時は充実した気持ちになれることに気付き，自分が正しいと判断したことは自信をもって行おうとする心情を育てる。

【指導の要点】正しいことだと分かっていても，自分の心の弱さに負けたり，周囲に流されたりして実行できないことがある。そのことにより，後ろめたさが残り，正しいことを行えた時は充実した気持ちにつながることを理解し，物事を自律的に判断し自信をもって行うことについて考えを深める。

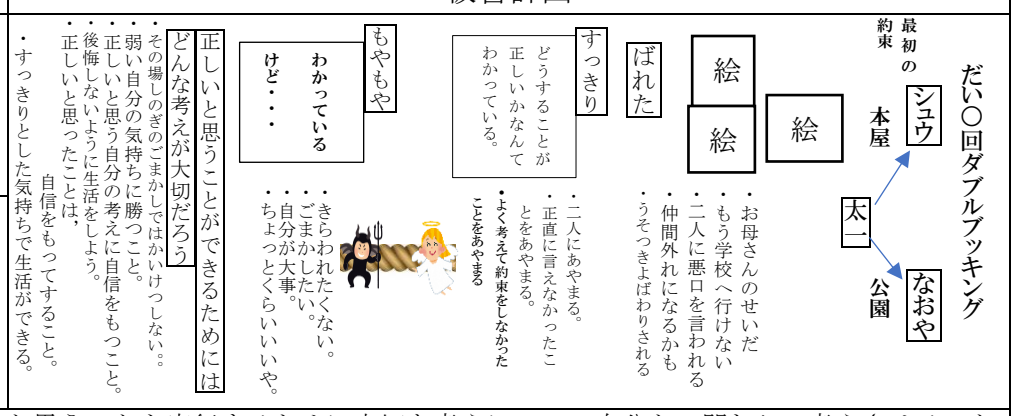
【主題に関わる児童の実態】
・自己中心的な言動が原因によるトラブルが多かった学級だが，トラブルの原因について自分たちで考えさせることを通して，自分の行動を振り返り反省することが少しずつできるようになってきた。しかし，悪いことだと分かっていても人の意見に左右されてしてしまったり，友達と一緒だから自分だけが悪いのではないという考えになったりする児童もいる。また，悪いことをしても悪いことをした自覚があることだけで満足している児童や，友達からは嫌われたくないという理由で正しいことが実行できない児童もいる。

【授業を通して引き出したい児童の考え】
・間違っていると分かっていても，時として弱い心に負けてしまうことがある。
・友達によく思われたいというのは，自分のために思うことであり，こんな考えでは本当の友達はできない。
・間違いに気が付いたら直すことが大切だ。
・正しいことだと分かっていても，しなかったら分かってないことと同じになる。
・正しいと思うことができたらスッキリする。
・自分の中には正しいことを行いたいという気持ちがある。その思いを大事にして行動し，自分の中の正しい心を守っていきたい。

指導上の工夫

自分自身との関わりで考えるための工夫	・友達と二重に約束をしたことが相手に分かった時、自分だったらどうするかを考えさせる。 ・自分が正しいと思ったことでも，できなかった経験やその理由を考えさせる。
多面的･多角的に捉えるための工夫	・太一の行動をシュウとなおやがどう思ったのかを想像させる。 ・意見を交流させる際には，自分の意見と友達の意見を比べ，お互いの意見を比べ考えられるようにする。 ・正しいことをしようとする心とそれを邪魔する弱い心を綱引きで表してイメージさせ，自分の心の中について考えさせる。
授業の評価の観点	・正しいと思うことを実行できなかった時の心の葛藤や，正しいと思うことを実行するために大切な考えについて自分との関わりで考えさせることができたか。(自分自身) ・正しいと思うことをしたい自分と，その場に流されてしまう弱い自分の存在に気付かせ，正しいと考えたことができた時の充実した気持ちや，できなかった時の後ろめたさについて考えさせることができたか。(多面的・多角的)
児童の評価の視点	・正しいと分かっているのに，弱い自分の心に負けて実行することができなかった時の主人公の気持ちについて，自分との関わりで考えようとしていたか。(自分自身) ・正しいと判断したことを実行できるためには，心の弱さや打ち勝つ強さ，その時の自分自身の思いなど様々な視点で考えようとしていたか。(多面的･多角的)

板書計画



【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○），補助発問・問い返し（◆），留意事項（・）	予想される児童の反応
導入	１．友達と遊ぶ約束をしたときのことを思い起こす。（３分） ・友達と遊ぶ約束をしたときの楽しい気持ちについて振り返らせる。	・○○と遊ぶ約束をして遊ぶのが楽しみだった。 ・約束の時間が早く来ないかとワクワクした。
	２．教材のアニメーションを見る。（３分） ３．教材について話し合う（１８分） ・アニメーション視聴後，太一の行動を確認する。 ○ダブルブッキンングのことがなおや達にばれ，シュウにばれるのも時間の問題だと思った太一はどんなことを考えたでしょう。 ◆自分だったらどうしますか。 ◆お母さんが悪いのかな。 ◆なおやとシュウはどんな気持ちになっただろう。 ○太一がどうしたらよかったのかわかっていたのに，できなかったのはなぜだろう。 ・綱引きのイラストを掲示し，心の葛藤を表現する。 ◆太一が考えている正しいことを，自分たちはできるだろうか。 ・自分にも正しいと思ったことでも，できなかった経験や，その理由，思いについて振り返らせるようにする。 ４．正しいと思ったことができるためにはどんな考えが大切なのかについて考える。（１３分） ◎正しいと思うことができるためにはどんな考えが大切だろう。	・お母さんが余計なことを言ったからいけない。 ・もう，学校へ行きたくない。 ・学校で二人に悪口を言われそう。 ・学級の中で仲間外れになるかもしれない。 ・「嘘つきや」と言われそう。 ・なおややシュウから，「遊ぶのを楽しみにしていたのに」と言われそう。 正しいと思うこと ・二人に謝る。 ・よく確かめて約束しなかったことを謝る。 ・二人のことにすぐに言えなかったことを謝る。 ・ごまかさずになんとかしようと努力する。 出来なかった理由 ・自分が悪者になりたくない。 ・二人に嫌われたくない。 ・ごまかしたい。 ・自分もこれまでごまかしてしまったことがあったけど，いつまでも気になってもやもやしたままだったな。 ・迷ったけど，正しいと思うことができた時，すっきりしてやってよかったと思った。 ・その場しのぎのごまかしでは解決しないから正しいと思うことをやろうとする強い気持ち。 ・正しいと思う自分の考えに自信をもつこと。 ・後悔しないように正しいと思ったことをしようとする。 ・正しいと思うことは，自信をもって実行しようすること。 ・自分の行動にはしっかり責任をもつ。
終末	５．本時の振り返りをする。（８分） 道徳ノートに自分の考えを記入することを通して，今日の学習について振り返る。	・正しくないとわかっていても，弱い心に負けてしまったことが自分にはあったけど，スッキリした生活をするためには正しいと思ったことをきちんとしたい。 ・正しいと思うことをすることは，自分の正しい心を大切にすることにもなる。